



## 阿波高新聞

5月号

編集  
新聞・文芸部  
第 200 号一年生が神戸に上陸  
BBQやジューズ、ピングを楽しむ

今月八日一年生は遠足として神戸に行った。主な行き先は二か所で神戸フルーツフラワーパークと三田プレミアムアウトレット。この二か所はかなり距離が近く、神戸フルーツフラワーパークの駐車場から三田プレミアムアウトレットが見える程。出来るだけ短時間に予定を詰めたい遠足にはもってこいの組み合わせだと言えるだろう。

神戸フルーツフラワーパークでは、まず、様々なアトラクションを楽しむ。規模も決して大き



▲神戸フルーツフラワーパークにて。

た。野菜の多さに悶絶する生徒も中にはいたが、各々がBBQを心より楽しんでる様子が見て取れた。三田プレミアムアウトレットでは、素直にアウトレットで買い物をする者、隣接するイオンモールで買い物をする者、イオンモールのゲームセンターに入り浸る者など、それぞれの個性がハッキリ見える結果になった。ただし、方法が違うだけで、心の底から楽しんでるという事実は共通していると言える。遠足全体を通してやはり、感想としては、「楽しかった。」という声が多く、非常に充実した遠足になったと言えるだろう。高校生活初の行事は良い思い出になっただろう。



イラスト 32HR 岩坂 優

## 今月のひとこと

だんだん暖かくなってきました。

テストお疲れ様でした。

新聞・文芸部員募集しています。

避難訓練と私たちにできること  
いつか起こる災害に備えて

五月一日、洪水を想定した避難訓練が行われた。この訓練は柿原ごども園との合同で行われる予定だったが、悪天候のため合同避難訓練は中止となった。校内放送が入り訓練が始まった。今回の避難場所は体育館であった。本来の避難場所はグラウンドであるが、こちらも雨の影響で変更となった。続々と全校生徒が集合していった。今回の訓練で避難にかかった時間は五分三十秒であった。避難完了時、体育館はざわざわとしていて落ち着きがない様子であった。

校長先生はお話の中で「おはしも」(おさな)は、はしらない、しゃべらない、もどらない)についておっしゃっていた。実際、私たちがこれを守れていなかった。避難後も周りの人と話していたから。避難訓練後、各教室で一本のビデオを見た。それは東日本大震災が発生した際、学校の生徒たちが自主的に避難している映像であった。彼らは避難訓練で実際の津波の速さを体験するなど、地震の怖さを知っていた。また、家族から地震や津波についての話を聞くことも多かったという。

そのような経験が自主的避難に繋がったのだ。徳島県付近で近い将来、大地震が発生するといわれている。訓練とは全く違う状況に私たちは立たされるだろう。そんな中、得た知識で自分たちにできることは何か、今からでもできることは何か。それを考え、意識を変えていくことが私たちに必要なかもしれない。

## 新聞・文芸部員大募集！

私たちと一緒に阿波高新聞やオリジナル部誌を作ってみませんか。文章やイラストを書くのが好きな人、ぜひ新聞・文芸部に入部してください。待っています！また、阿波高新聞で取り上げてほしい記事等がありましたら、顧問の稲垣先生までお知らせください。